

# Alpha

Operations Instructions,取扱説明書

目次：

1. はじめに
2. ご使用に際して
3. 操作パネル部分
4. 基本的な操作方法
5. テクニカルデータ



## 1. はじめに

Alphaをご購入頂きありがとうございます。  
Alphaは製品ラインアップの中で最もコンパクトサイズながら、プロユースに対応可能なほどパワフルで素晴らしい品質を持ち合わせ、 AER製品本来の透明感かつ自己主張のある音を奏でるアコースティック楽器用のアンプシステムです。2つのインプットが楽器とマイクの同時使用を可能にします。  
ダイナミックな 40Wの出力と8インチ・ツインコーン・スピーカーシステムがいかなる状況下でも素晴らしいパフォーマンスを実現する事を可能にします。

Alpha 5. テクニカル・データ



<b>入力:</b>	インプット1: XLR/ 1/4インチ(6.3mm)フォン コンビネーション line = アンバランス, 1MΩ mic = バランス, 600Ω, ボイス・フィルター300Hz  インプット2: 1/4インチ(6.3mm)フォン line = アンバランス, 2.2MΩ pad = -10dBV エフェクト・リターン = -10dBV/10K
<b>出力:</b>	ライン = 0dBV ダイレクトアウト = -20dBV センド = -10dBV
<b>フットスイッチ:</b>	チップ = 内部エフェクト リング = 外部エフェクト スリーブ = グラウンド
<b>EQ:</b>	ベース = ±8dB/100Hz ミドル = ±3dB/550Hz トレブル = ±11dB/10kHz
<b>アナログ・シグナル・プロセッサ:</b> ミッター, サブソニック・フィルター, エンハンサー	
<b>エフェクト:</b>	デジタル・リバーブ
<b>パワーアンプ:</b>	消費電力 100W(100V 50/60Hz) 出力 40W/4Ω
<b>メインヒューズ:</b>	250V 2A スロー・ブロー・タイプ
<b>スピーカー:</b>	8インチ・ツイン・コーン・スピーカー・システム(96dB 1w/1m, F特性 60Hz-18kHz)
<b>キャビネット:</b>	パーティ材 プライウッド(12mm)
<b>スタンド用ネジサイズ:</b>	3/8インチ
<b>寸法:</b>	260mm(H)×265mm(W)×235mm(D)
<b>外装:</b>	水性アクリル塗料, ブラック スパッター仕上げ
<b>重量:</b>	6.5kg
<b>付属品:</b>	ショルダーバッグ

\*仕様は予告なく変更する場合がございます。

2. ご使用に際して

本製品をご使用になられる前に必ず取扱説明書をよくお読み下さい。以下の警告及び注意事項には必ず従って下さい。又、本取扱説明書は大切に保管して下さい。

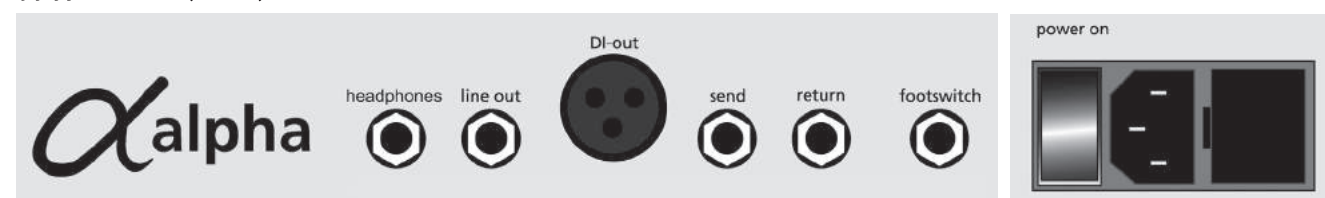
	<b>警告</b> 以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体に重大な影響(死亡、重傷等)が発生する可能性がございます。誤った取扱いは、火災・感電の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品はAC100V専用です。それ以外の電源では使用しないで下さい。</li> <li>●電源コードの取扱いには十分ご注意下さい。重い物を載せたり、無理な負荷をかけたり、引っ張ったりしないで下さい。</li> <li>●本製品を可燃物又は、暖房機器等の熱源の近くでは使用しないで下さい。</li> <li>●本製品を濡らしたり、水をかけたりしないで下さい。又、雨・霧・雪等が発生している場合、海辺、水辺等でのご使用には特に注意が必要です。</li> <li>●本製品の上に、水の入った容器、花瓶、飲料、薬品等や小さな金属類を置かないで下さい。これらが内部に入りますと大変危険です。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品をご使用の際は、必ず付属の電源コードをお使い下さい。それ以外のものをお使いになりますと、重大な事故が発生する場合がございます。</li> <li>●煙が出たり、変な臭いや異音がする等の異常がある場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品を分解したり、改造しないで下さい。</li> <li>●AER正規代理店である弊社以外で修理・交換をされますと1年間の保証が無効となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品の使用中に何らかの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して下さい。その際には電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて下さい。その後、お買い上げになられた販売店へご相談下さい。</li> </ul>
<b>注意</b> 以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体及び器物に重大な影響(傷害、器物破損等)が発生する可能性がございます。誤った取扱いは、火災・感電・製品破損の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品を設置する際には、以下のような場所には置かないで下さい。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体の落下する恐れのある不安定な場所</li> <li>・湿気やほこりの多い場所</li> <li>・気温が極端に低く、又は高くなる場所</li> <li>・通気性の悪い場所</li> </ul> </li> <li>●本製品の接続ケーブルが人の通り道や物の下に置かれないようにご注意下さい。</li> <li>●本製品を強い電力を持つトランスフォーマー、発電機、ライト等の機器の近くに置かないで下さい。</li> <li>●本製品の通気の為に、機体の周りに十分な空間を確保して下さい。</li> <li>●本製品をスタンドに取付けて使用される場合、その取扱には十分ご注意下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プラグを差し込む前に、本製品の電源がOFFになっていることを確認して下さい。</li> <li>●本製品に、オーディオ機器・楽器等を接続された後に全てが正しく接続されている事をご確認下さい。</li> <li>●電源スイッチを入れる前に、本製品のボリュームが最小になっている事をご確認下さい。</li> <li>●アースに関しては可能であれば接続することをお奨めします。</li> <li>●本製品のお手入れをされる際は、全てのプラグを抜いてから行って下さい。アルコール、化学薬品等は使用せず、水気が本製品の中に入らないよう注意し、乾いた布等でお手入れをして下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源が入っている状態で、接続機器を抜き差ししないで下さい。機体破損の原因となります。</li> <li>●落雷の際、又は長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。</li> <li>●電源プラグを抜く際は、電源コードを引っ張らずに、必ずプラグ部分を持って行って下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音が歪んでいる状態で使い続けた場合、機体が破損したり異常に高温になる事がございますのでご注意下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品の使用中に何らかの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して下さい。その際には電源スイッチを切り電源コードをコンセントから抜いて下さい。その後、お買い上げになられた販売店へご相談下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄する際には必ず地域の条例に従って下さい。</li> </ul>

## 操作パネル(フロント)



<b>input one</b>	XLR/ 1/4インチ(6.3mm)フォン コンビネーション・ジャック	<b>gain</b>	入力レベル・コントロール
<b>line/mic</b>	入力感度切り替えスイッチ	<b>clip</b>	過大入力の際のインジケータ
<b>line</b>	ラインレベルの音源、又はアクティブ・プリアンプやマグネティック・ピックアップ等の入力用	<b>colour</b>	ミッド・カット・トレブル・ブースト・スイッチ (input twoのみ)
<b>mic</b>	バランス・マイク入力用 (24Vファンタム電源も供給出来ます)	<b>EQ</b>	両チャンネル同時に作用
<b>gain</b>	入力レベル・コントロール	<b>bass</b>	低音域コントロール
<b>input two</b>	1/4インチ (6.3mm) フォン ジャック	<b>middle</b>	中音域コントロール
<b>pad</b>	入力感度切り替えスイッチ アップ・ポジション 標準 ラインレベル ダウン・ポジション 30dB/V カット	<b>treble</b>	高音域コントロール
		<b>effect</b>	内部エフェクトのレベル・コントロール
		<b>on</b>	電源ランプ(電源を入れると緑色のLEDが点灯)
		<b>master</b>	マスターレベル・コントロール

## 操作パネル(リア)



<b>出力</b>		<b>エフェクト・ループ (モノ、パラレル)</b>	
<b>phones</b>	ヘッドフォン接続端子 (接続した場合、メインスピーカーからは音が出なくなります。) ※ヘッドフォン以外は接続しないで下さい。L.R.が内部接続されているためモノラルプラグを接続しないで下さい。	<b>send</b>	外部エフェクトへの出力端子(-10dBV)
<b>line-out</b>	ラインアウト端子	<b>return</b>	外部エフェクトからの入力、又はCDプレーヤー等の外部音源の接続端子(-10dBV)
<b>DI-out</b>	ダイレクトアウト端子	<b>footswitch</b>	エフェクト切り替え用フットスイッチ接続端子 (詳細は4.の基本的な操作方法をご覧ください)
		<b>power</b>	電源スイッチ、電源ケーブル接続端子

## 電源を入れるまでの手順

本製品は日本市場向け製品であるため、日本国内(100V電源)にてご使用下さい。本製品が日本向け仕様である事はリアパネルの表示部分にてご確認頂けます。本製品の電源を入れる前に、'master'と'return'は0ポジション(反時計回りに回してそれ以上いかない箇所)に、その他全てのコントロールは中央のポジションにセットして下さい。そして配線を行って下さい(主電源、楽器・マイク等)。以上の手順の後、リアパネルにある主電源のスイッチを入れて下さい。緑色の電源ランプが点いたら、操作可能です。

## レベルコントロール

適切なレベルに調節するために、'master'は0ポジションのまま、gainを上げていって下さい(例えば11時方向ぐらいまで)。ピックアップシステムを調節するにはpadスイッチとgainコントロールを使って行って下さい。通常の音量で一回激しく演奏してみてください。その時、clip表示を見て、点灯したらシグナルが大きすぎる事を意味しますので、歪みが起こらないように楽器のプリアンプ、又はその他の接続機器のボリューム又はゲインを低くして下さい。最初のワンストロークを激しく行くと点灯する事もありますが、通常演奏時は点かなくなるはずですが。

## ご注意

以上のような調整を行えば、楽器側のピックアップシステムからの入力レベルは本製品へ適切に設定されています。演奏の魅力を最大限に引き出してくれるでしょう。通常演奏時にはclip点灯はしないはずですが、よって歪み音も聞こえてこないはずですが。まれにclipが点灯するのは問題ありません。'master'コントロールで適切なボリュームにセットして下さい。

点灯表示は全ての初動作時に起こります、何か強い刺激が加わった時にも起こるかもしれません。音に歪みが出ていないか耳で聞いて、必要に応じてボリューム又はゲインを再調節して下さい。ピックアップやプリアンプのシグナルが弱すぎると本製品はその機能を最大限発揮しません、同時に強すぎても音質は悪くなります。

楽器本体のプリアンプのバッテリーは常に新しいものを使用するようにして下さい。ハム、ヒス、歪みノイズの原因となる場合があります。

## トーンコントロール

本製品は同時に2つのインプットに対応する3バンドイコライザーを装備しています。これは楽器の音色を正確に調整するためのものです。常に楽器本体からの音と本製品から出てくる音を聞き比べて下さい。'colour'スイッチはinput2にてフィンガー・スタイルテクニクに特に必要なミッド・カット・トレブル・ブースト・フィルター効果を実現し、音を軽く、明るくさせます。

トーンコントロールも又、アンプのレベルに影響を与えますのでclipの点灯に注意を払っておいて下さい。

## エフェクト

本製品はデジタル・リバーブが装備されており、effectノブでエフェクト効果を調節する事が出来ます。さらには、その他のエフェクターも接続する事が出来ます。その際は、本製品のリアパネルにある'send'と'return'の差込口をお使い下さい(sendからの出力を外部エフェクト入力へ、returnへの入力は外部エフェクトからの出力を接続します)。エフェクトの強弱は外部のエフェクター本体で行って下さい。

※send, return入出力レベルは-10dBVです。

使用する外部エフェクターは、入出力レベル調整機能のある製品をお使い下さい。コンパクトタイプ・エフェクターを使用した場合、入出力レベルの違いから音量不足の状態になる事がございます。

## フットスイッチ

ステレオケーブル仕様の標準的なダブル・フットスイッチを'footswitch'ジャックに接続して使用する事により、内部と外部のエフェクターのON/OFF切り替えが出来ます。

## その他のアウトプット

**phones** : ヘッドフォンを接続する際に使用します。その際、スピーカーから音は出なくなります。

**line out** : エフェクト効果ありでトーンコントロールされた後、マスターコントロールされたシグナルを出力します。(テープレコーディングにご使用出来ます。)

**DI-out** : エフェクト効果なしでトーンコントロールされた後、マスターコントロールされる前のシグナルをXLR端子より出力します。(サウンドシステムとの接続に適しています。)